

防災メモ

我が家の防災メモ 必ず記入しておきましょう

自宅からの避難経路

緊急連絡先

	名称	電話番号		名称	電話番号
市	宿毛市役所(代表)	0880-63-1111	警 察	警察 事件・事故の通報	110
	危機管理課	0880-63-0951		宿毛警察署	0880-63-0110
電気	四国電力送配電(株) 宿毛サービスセンター	0120-410-467		東部駐在所	0880-66-0120
ガス	ご使用中のガス会社 ()			橋上駐在所	0880-64-0215
水道	宿毛市水道課	0880-63-1009		片島駐在所	0880-65-8271
消 防	消防 火事・救助・救急	119		小筑紫駐在所	0880-67-0153
	宿毛消防署	0880-63-0119			

保存版

宿毛市 洪水 ハザードマップ

Sukumo City Flood Hazard Map

このハザードマップには、洪水時に想定される危険箇所などの災害情報と、避難所の位置、防災関連施設などを記載しています。いざというときには雨の状況や気象情報、災害情報などに十分注意して、安全に避難しましょう。

防災

我が家の防災メモ 必ず記入しておきましょう

	お名前	緊急時の連絡先	生年月日	血液型
避難先				
家族の 集合場所				

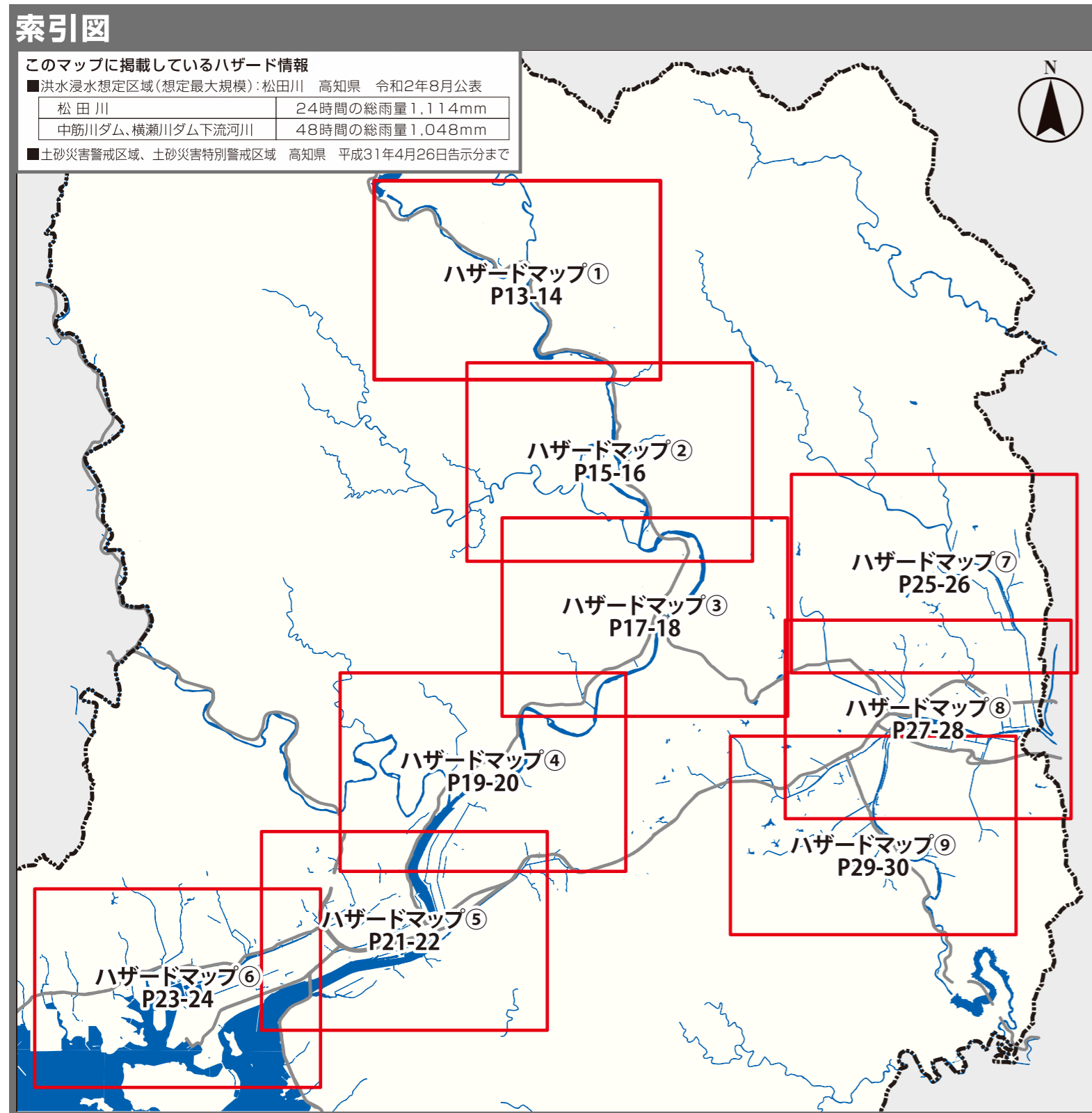
ハザードマップの活用方法

このハザードマップは、大雨時の浸水や土砂災害などの避難が必要な区域を示したマップです。このマップを活用し、家族や地域で、大雨時の行動を計画しましょう。

- 避難行動を理解し、避難が必要か考える
- 我が家の避難行動計画「マイ・タイムライン」を作成する

目次

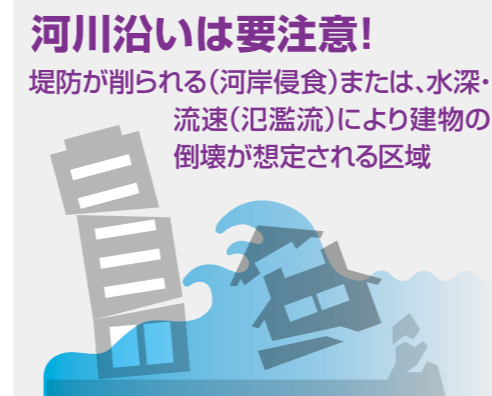
ハザードマップの活用方法	1	防災気象情報を理解しよう	7
目次	1	非常持出品の準備	9
索引図	1	自宅の備え	10
ハザードマップで、正しい避難行動を考える	2	我が家の避難行動計画「マイ・タイムライン」を作成しよう	11
洪水 大風/前線、ゲリラ豪雨は注意!	3	洪水ハザードマップ	13
土砂災害 大雨、地震での地盤のゆるみに注意!	5		



ハザードマップで、正しい避難行動を考える

ハザードマップを見て、自分の居場所の浸水の深さを知る

家屋倒壊等氾濫想定区域



5~10m以上 2階屋根以上浸水



3~5m以上 2階屋根まで浸水



0.5~3m 2階床下まで浸水



0.5m未満 1階床下まで浸水



浸水想定区域外でも、道路の冠水や内水氾濫が発生する可能性があるため注意しよう。

我が家の避難行動

STEP①から③を確認して、P11の「マイ・タイムライン」を作成しましょう。

STEP①-ハザードチェック

あなたの住んでいる地域は?

- 洪水浸水想定区域
- 土砂災害警戒区域

住んでいる場所の洪水浸水は?

(想定最大規模) 例: 松田川、0.5~3m
[川、 m]

STEP②-家族の状況をチェック

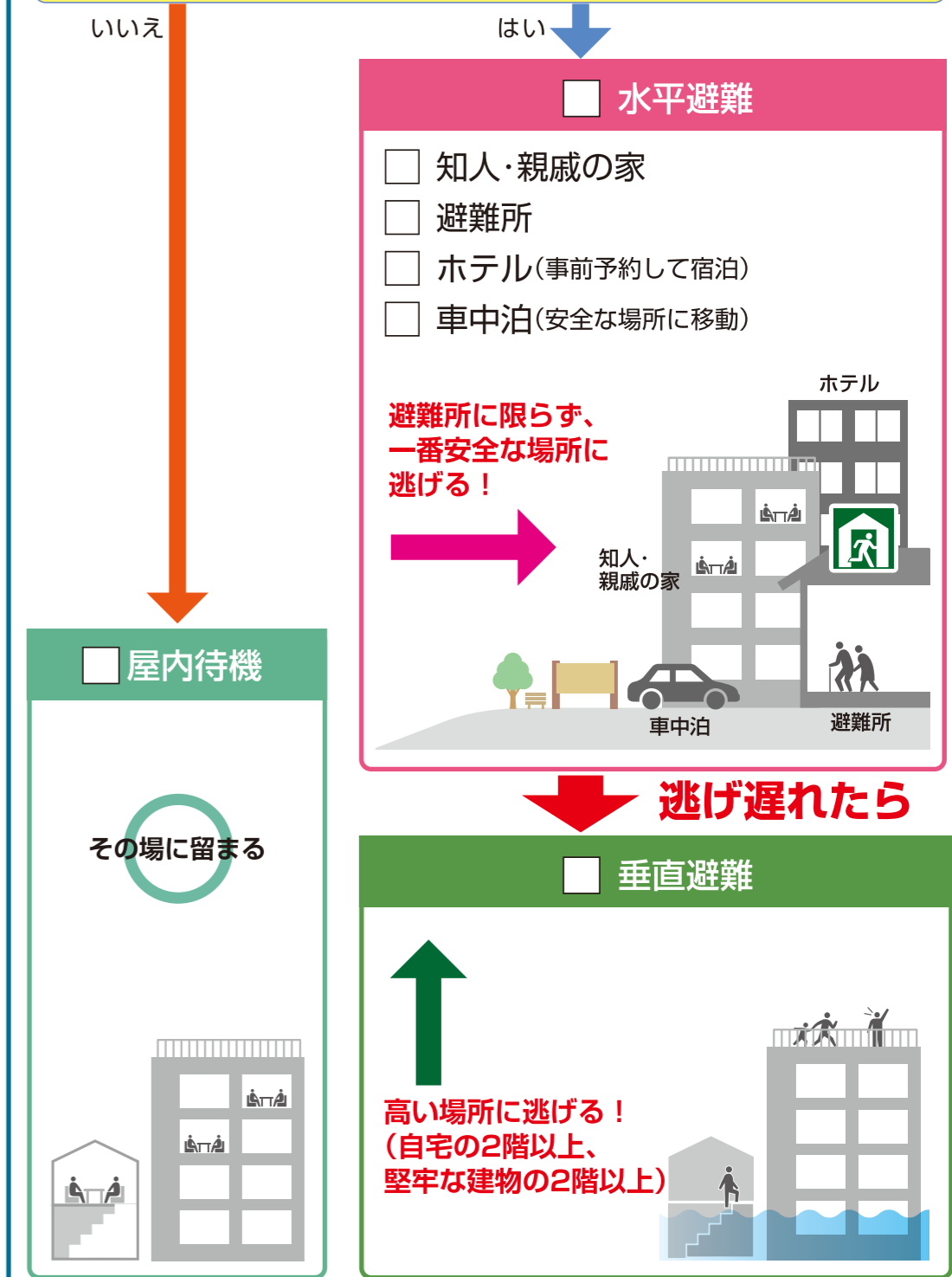
避難に支援を必要とする人
(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)

- 無 有

ペット: 無 有

STEP③-避難行動の検討

洪水浸水想定・土砂災害警戒区域内である

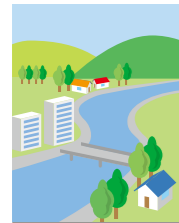


【注意事項】 避難方法検討の目安です。浸水想定区域外でも浸水する場合や、想定される浸水深を上回る場合もあります。土砂災害警戒区域も同様です。

洪水 大風／前線、ゲリラ豪雨は注意！

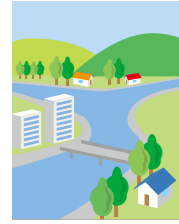
近年の豪雨等による水害発生状況によって、「水防法」の一部が改正され、洪水予報河川や水位周知河川では、想定最大規模の豪雨を対象とした洪水浸水想定区域の指定などが義務づけられました。

河川周辺



河川の流域や、かつて河川敷だった所は、豪雨によって洪水に見舞われる危険があります。

川の合流点



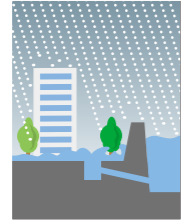
川の合流点付近では水の逃げ場がないため、浸水深が深く、長時間続きます。

天井川



川底が周囲の土地より高いので洪水で決壊すると、もの凄い勢いで川の水が襲ってくる危険があります。

低い土地



川の水位が上がると、水路から川に排水できなくなり、水があふれます。

平成30年(2018)7月豪雨災害

「平成30年7月豪雨」では、7月8日明け方に大月町から宿毛市にかけて「線状降水帯」が形成され、記録的な豪雨となりました。宿毛市では、7月8日午前3時から3時間雨量は263mmとなり、観測記録を更新し、高知県初となる「大雨特別警報」が発表されました。

市街地の家屋浸水や、沿岸部を中心に土砂災害が多く発生し、果樹園や養殖魚へ大きな被害が発生しました。

死傷者数	1名
被害家屋数	568戸
損害額	4,345,720千円

出典先:宿毛市地域防災計画



●洪水の原因は？

台風や前線の停滞によって数時間にわたり大量の雨が降る集中豪雨、一時的に激しい雨が降るゲリラ豪雨に注意が必要です。

1. 台風の接近

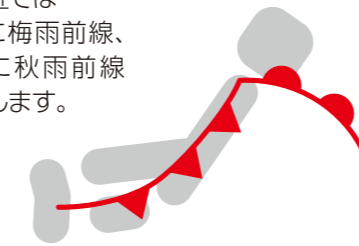
左側でも、地形によって高波が発生する可能性がありますので油断は禁物です。



右側では、風が急に強くなるため、高波が異常に発達する可能性があります。

2. 前線の停滞

日本付近では6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞します。



3. ゲリラ豪雨

大気の状態が不安定な時、積乱雲が発達します。

積乱雲が近づくサイン

●真っ黒い雲が近づいてくる



●雷の音が聞こえてくる

●急に冷たい風が吹いてくる

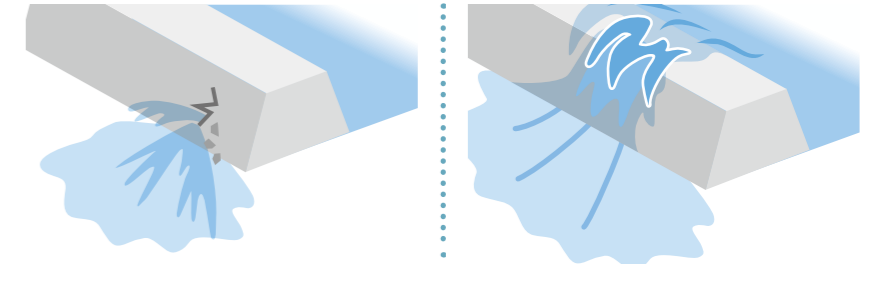


●洪水が起こるのは？

堤防の決壊と排水施設の限界です。

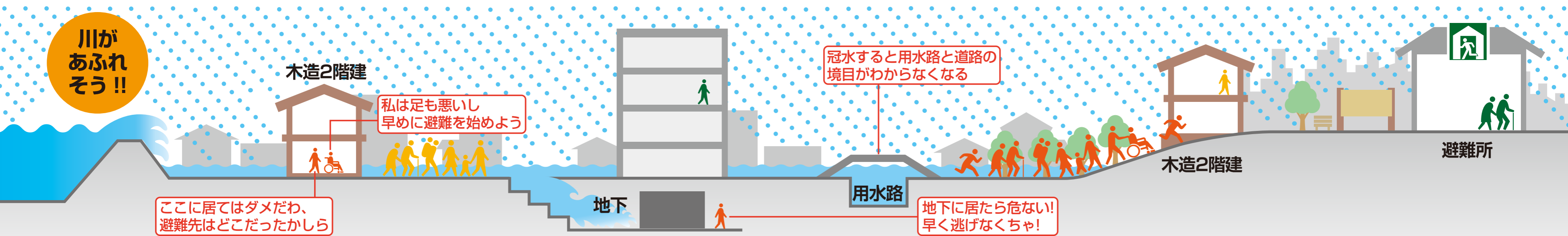
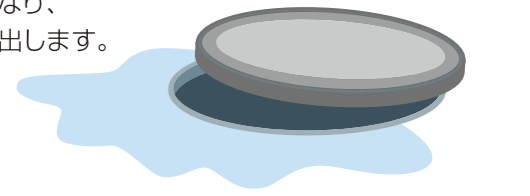
1. 堤防の決壊

- 河川の水が堤防内にしみこみ、堤防が弱くなり起こる
- 早い水流によって堤防の河川側が浸食されて起こる
- 増水により河川の水が堤防を超えあふれ出て、堤防の市街地側が削られる



2. 排水施設の限界

排水路で雨水がはけきれなくなり、水がマンホールや溝から吹き出します。



河川に近づかない!!

ライブカメラで確認

増水した川は大変危険です!! 高知県水防情報システムのホームページから、河川の様子が確認できます。



<https://suibo-kouho.suibou.bousai.pref.kochi.lg.jp/index.html>

水平避難が基本

安全な場所まで水平避難

浸水区域の外または近くの高い建物に早めに避難。



垂直避難し安全確保

浸水がすでに始まり 逃げ遅れた場合は建物内の高い場所へ避難

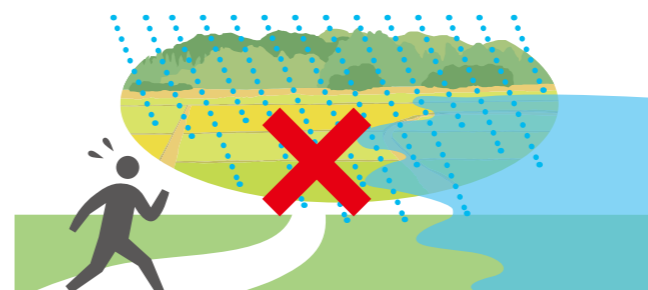
浸水の深さや建物の高さによっては、2階以上に避難。



危険な場所に近づかない

川や田畑の様子を見に行かない。

河川が突然氾濫することがあり危険です。また、草地は滑りやすく、用水路に転落するおそれがあります。



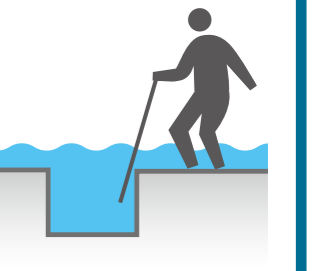
避難の注意

避難の時は足下注意!!

浸水している場所を歩くときには、棒などでマンホールや側溝を確認しましょう。水の深さが膝の上を超えると歩行が難しくなります。

(流れが早い場合などは状況が異なりますので目安として知っておきましょう。)

- 大人男性・・・水位70cm
- 大人女性・・・水位50cm
- 子供・・・水位20cm



土砂災害 大雨、地震での地盤のゆるみに注意!

急峻な山々に囲まれた地域では風水害や地震による土砂災害のおそれがあります。近年の土砂災害の状況を踏まえ、国では平成26年11月に「土砂災害防止法」を改正し、国民の生命および身体を守るため、土砂災害のおそれのある区域を明らかにした上で、警戒避難体制の整備などの対策を推進しています。近年の気象状況を踏まえ、土砂災害についての理解を深め、発生に備えてスムーズな避難を行うことが防災・減災につながります。

山間部
山崩れに注意が必要です。山崩れは集中豪雨だけでなく地震によっても発生します。



急傾斜地
がけ崩れに注意が必要です。がけ崩れは、豪雨や地震などによって突然発生します。



扇状地
山間部の集中豪雨に注意が必要です。豪雨によって山崩れが起きると土石流の危険があります。



河川周辺
河川の流域や、かつて河川敷だった所は、豪雨によって洪水に見舞われる危険があります。



平成30年(2018)豪雨の土砂災害

7月5日から本州付近に停滞する梅雨前線が活発になり、九州から東北にかけて、広範囲で断続的に非常に激しい記録的豪雨となり、6日夕方から8日にかけて、11府県で大雨特別警報が発表されました。6月28日から7月8日までの降雨記録では、48時間降雨量は124地点、72時間降雨量では122地点で観測史上1位を更新しました。土砂災害発生件数は、1道2府29県2,581件に及び、土石流等791件、地すべり56件、がけ崩れ1,734件の甚大な被害となりました。

死者	237名
負傷者	432名
全半壊	6,767戸
住家被害	半壊 11,243戸
	一部損壊 3,991戸

出典先/降雨記録:気象庁 平成 30年7月13日発表
被害件数:内閣府 平成 31年1月19日発表17:00時点集計



日本に土砂災害が多いのは?

日本列島の地形や地質・気象などの自然条件に大きな原因があります。

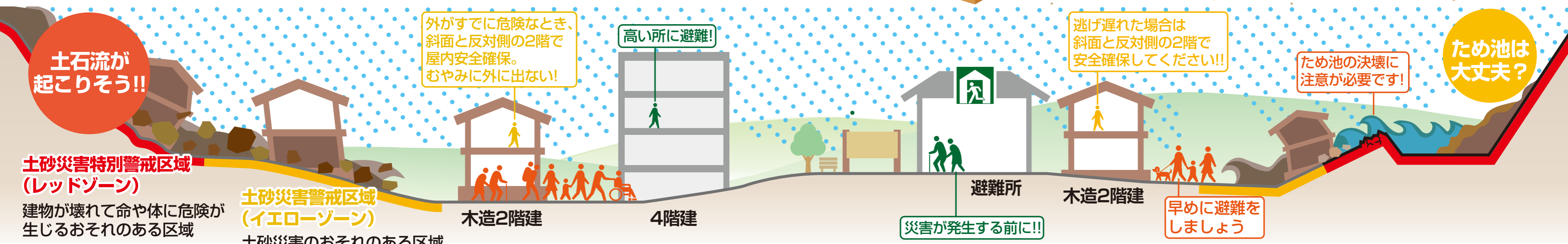
地形や地質:山地が多く平地が少ない・もろい地質・急流な川
気象などの自然条件:大雨・台風・集中豪雨・大雪・地震・火山の噴火など

●主な前兆現象 土砂災害が起こる多くの場合、事前に危険と思われる変化が見られます。よく注意してください。

川がにごった 川がにごり、木の枝などが混ざりはじめた。 	水位が下がった 雨が降り続けているのに川の水位が下がった。 	亀裂が走った 山の木が傾いたり、斜面に亀裂が走った。 	石が落ちてきた 山の斜面から石が転がり落ちてきた。
わき水が止まった 今までかれたことのないわき水が止まった。 	わき水が増えた わき水の量が急に増えた。 	水がにごった 普段澄んでいる沢や井戸の水がにごってきた。 	地鳴りがする 地鳴りの音が聞こえてきた。

●3つの土砂災害 発生のしくみや土砂の動き方から、大きく「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」があります。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊) 傾斜した土地が崩壊する自然現象。突然崩れ落ちるため、ひとたび家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。 	土石流 山肌が崩壊して生じた土石などや、渓流の土石などが一体となって流下する自然現象。その流れの速さは、時速20~40kmで、一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。 	地すべり 地面は何層もの地層が積み重なってできていますが、大雨が降り続けると地下に水がしみこみ、水を通しにくい粘土層の上に地下水がたまりやすくなります。この地下水の力を持ち上げられて、粘土層を境に上の地面がゆっくりすべり落ちます。
--	---	---



雨/土砂災害警戒情報に注意!!

土砂災害の多くは雨から起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら注意が必要です。土砂災害警戒情報は、土砂災害の危険度が高まった際、高知県と気象庁が発表する避難に有効な情報です。早めに避難しましょう。

土砂災害警戒情報

20ミリ

水平避難が基本

安全な場所まで水平避難
レッド・イエローゾーンは崩れる前に早めに避難しましょう。
※土砂災害警戒情報は避難の合図

直角に逃げよう!
土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは、直角に逃げましょう。

垂直避難し安全確保

土砂災害がすでに発生し、逃げ遅れた場合は建物内の高い場所へ避難

建物の2階以上で、斜面とは反対側の部屋など、屋内の少しでも安全な場所へ避難しよう。特に土石流が想定される場所では、危険なエリアから離れるか、近くの丈夫な建物の上階に避難しましょう。

知っていますか?

市では詳しい「土砂災害ハザードマップ」が整備されています。土砂災害警戒区域等において、土砂災害の発生原因となる自然現象の種類を明示し、円滑な警戒避難を確保する上で必要な事項を記載したものです。

土砂災害ハザードマップ
<https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-30/13614.html>

防災気象情報を理解しよう

5段階の警戒レベル 避難を判断するための防災情報を発令

警戒レベル 1・2
気象庁が発表

ハザードマップやマイ・タイムラインで避難のタイミングを確認しよう。

警戒レベル 3
宿毛市が発令

高齢者等避難!

危険な場所から高齢者等は避難

避難に時間がかかる高齢者、障がいのある方、乳幼児等とその支援者は避難を開始しよう。その他の人は避難の準備を整えよう。

警戒レベル 4
宿毛市が発令

避難指示

危険な場所から全員避難

危険な場所にいる人は速やかに安全を確保しよう。避難先までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所へ移動しよう。

警戒レベル 5
宿毛市が発令

緊急安全確保

命の危険 直ちに安全確保!

すでに災害が発生している状況。命を守るための最善の行動をとろう。

気象庁からの気象情報 今いる地域を流れる河川の上流の状況にも注意

大雨・洪水注意報

災害が起こるおそれ

河川の増水、道路の冠水、家の床下浸水のおそれ。最新の気象・避難情報に注意!

大雨・洪水警報

重大な災害が起こるおそれ

河川の更なる増水による氾濫、道路の冠水、家の床上浸水のおそれ。危険な状況。

大雨特別警報

大災害への最大級の警戒

数十年に一度の大雨が予想され、洪水・土砂など大災害発生のおそれが極めて高い状況。

氾濫 氾濫しそう!

水位	松田川 橋上観測所	松田川 平井観測所
平常の水位		
水防団待機水位		
氾濫注意水位		
避難判断水位	4.90m	4.20m
氾濫危険水位	5.50m	4.20m

水位はインターネットで確認。上流にダムがある場合、ダムの放流によって、下流の水位が上がることもあります。ダムの洪水調節情報にも要注意!

情報の入手先

	緊急速報メール (エリアメール)	市内に滞在する方の携帯電話に、避難情報や開設した避難所についての情報が自動的に配信されます。
	宿毛市防災アプリ	防災情報、火災情報、市からのお知らせ等をプッシュ通知にて受信できます。
	高知県防災アプリ	気象情報や避難情報、河川水位や土砂災害の危険度など避難の判断に必要な情報をプッシュ通知にて受信できます。
	NHK ニュース・防災	<ul style="list-style-type: none"> ●最新ニュースや災害情報をいち早くお届け。 ●速報や災害・避難情報をプッシュ通知。 ●マップ上で雨雲や台風、河川情報をチェック。 ●災害時にはライブ中継を提供。
	宿毛市ホームページ	https://www.city.sukumo.kochi.jp/kurashi.html
	こうち防災情報	http://kouhou.bousai.pref.kochi.lg.jp/index.html
	気象庁ホームページ	https://www.jma.go.jp/ 気象庁危険度分布 お住まいの地域が危険になったらスマートフォンに通知がくる「危険度分布通知サービス」をご活用ください。

災害用伝言ダイヤル

災害時には一般の電話がつながりにくくなります。安否の確認などには、電話事業者の災害用伝言ダイヤルやweb171を活用しましょう。(毎月1日、15日などに体験日が用意されています。)

災害用伝言ダイヤル「171」

災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法

171 にダイヤル

(案内が流れます)

録音の場合は 1

(録音の案内が流れます)

再生の場合は 2

(再生の案内が流れます)

(0XX)XX-XXXX

被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

伝言を録音する

(30秒以内)

伝言を再生する

(30秒以内)

インターネット災害用伝言板 (web171)

web171 の利用方法

web171

伝言を登録する。

被災地の方などの電話番号を入力

被災地の電話番号を市外局番から入力。携帯電話等の電話番号でも登録可能です。

説明に従い、登録/確認

※確認時に他社の伝言板に伝言がある場合はリンクが表示されます。

非常持出品の準備

夜間の避難の際、足元を照らす「懐中電灯」をはじめとして、「替えの下着」なども必要です。家族1日分程度の非常食を自分で用意しよう。

食料品

- 飲料水
- 非常食



衣類など

- 上着・下着
- タオル
- 洗面用具



貴重品

- 預金通帳
- 印鑑
- 現金
- 保険証
- 身分証明書



日用品など

- 懐中電灯(予備電池・電球)
- 携帯ラジオ
- 携帯電話
- 充電器



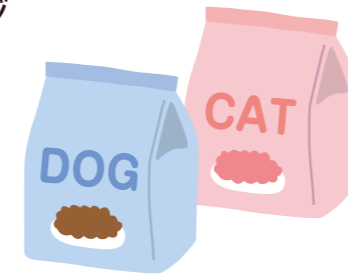
小さな子どもや高齢者が居る家庭では

- ミルク・ほ乳瓶
- 離乳食
- 流動食
- 紙おむつ
- おしり拭き
- 母子手帳



ペットの居る家庭では

- ペットフード
- ふん尿の始末用品
- ケージ



その他

- 常備薬
- 雨具
- お薬手帳
- マスク
- 消毒液
- 体温計



動きやすい服装 2人以上で避難を!

- 2人以上で避難
- リュックサック
- 長袖 ●長ズボン
- 雨具 ●運動靴



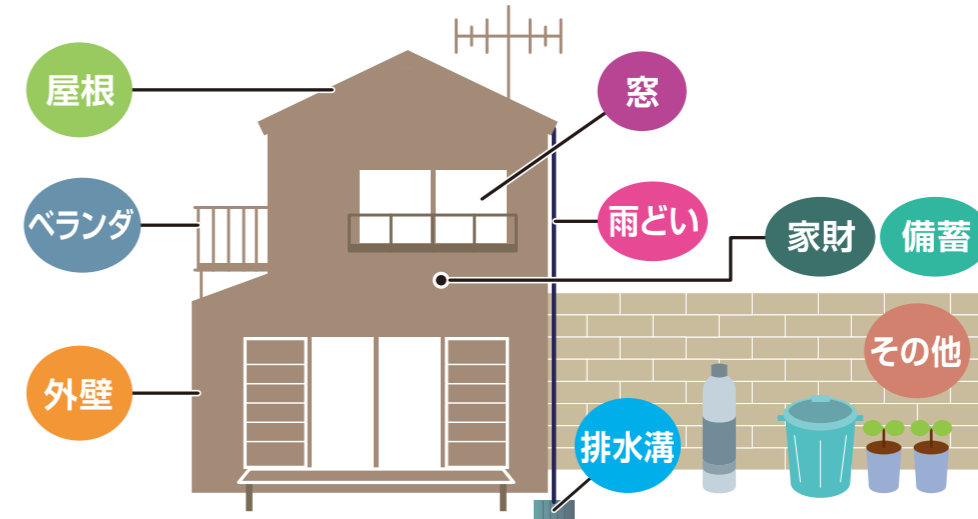
- 持出品は、欲張ると避難の妨げになる場合があります。「目安:男性15kg、女性10kg」
- 何を、どれくらい、誰が持つかなどを、家族全員で話し合しましょう。
- まず「無ければ困るもの」を用意し、常に身近においておこう。次に「あれば便利なもの」を用意、災害に備えましょう。
- 飲料水は一人1日3リットルが目安です。
- 定期的の中身を確認しましょう。

上段以外で個人的に必要なものがあれば、下記に記載しましょう。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自宅の備え

自宅や周辺を確認



屋根

- アンテナが不安定ではないか。
- トタンがめくれていないか。
- 瓦のひび・割れ・はがれがないか。

ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険があるものがないか。

外壁

- 壁に亀裂がないか。

窓

- 窓枠にがたつきがないか。
- 雨戸にがたつきがないか。

雨どい

- 雨どいに落ち葉などが詰まっていないか。
- 継ぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りがないか。

排水溝

- 排水溝にごみや土砂が詰まっていないか。

点検日

年	月	日
年	月	日
年	月	日

家財

- 濡れて困るものを、あらかじめ高い場所へ移動しているか。

備蓄

- 大規模災害に備え、家での備蓄は、家族全員7日分の非常食や飲料水を用意しているか。

その他

- 商店などでは看板のぐらつきがないか。
- 貴重品がすぐに持ち出せるようになっているか。
- ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか。
- 庭木には添え木をしているか。
- ブロック塀が倒れそうにないか。
- プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定しているか。

身近なものでできる水害対策

家庭にあるものを土のうや止水板のかわりに使用することで、浸水を軽減することができます。

【例1】 ゴミ袋とダンボール

- ①ゴミ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れる
- ②ダンボール箱に入れ、連結する

【例2】 ポリタンクとレジャーシート

- ①ポリタンクに、水を入れる
- ②レジャーシートで巻き込み、連結する

【例3】 プランターとレジャーシート

- ①土を入れたプランター
- ②レジャーシートで巻き込み、連結する

我が家の避難行動計画「マイ・タイムライン」を作成しよう

台風の接近や大雨は、事前に予測できるため、日頃から「避難のタイミング」や「いつ」「だれが」「何をするのか」を決めておきましょう。

作成方法 1. で該当するものを 2. 以外で他に必要なものがあれば、家族の行動計画に記載「1」、「2」を埋めれば、「マイ・タイムライン」の完成です。

警戒レベル		レベル1	レベル2
避難情報等		早期注意情報	洪水注意報、大雨注意報
防災気象情報 (警戒レベル 相当情報)	河川の情報	—	氾濫注意情報
	土砂災害の情報	—	—
避難のタイミング(避難スイッチ) <small>避難するタイミングを決め、○を塗りつぶそう</small>		○	○
基本的事項 (すべての避難行動に共通する事項)		<input type="checkbox"/> 天気予報を確認 <input type="checkbox"/> 家の点検 <input type="checkbox"/> 非常持出品の準備 <input type="checkbox"/> 避難手段を確認 <input type="checkbox"/> 家族の行動を確認	<input type="checkbox"/> 長期自宅待機に備え、 備蓄品等を水に浸からない 所に置く <input type="checkbox"/> 家族等へ連絡
水平 避難が 必要な 場合	避難に支援が必要な方 又は支援者	<input type="checkbox"/> 家族やケアマネージャー等支援者を交えて避難する時機、 移動手段、避難場所の確認	
	ペットとともに避難する方	<input type="checkbox"/> 知人、ペットホテル等の一時預け先の確認 <input type="checkbox"/> 避難する時機、移動手段、避難場所の確認 <input type="checkbox"/> ペット用非常持出品、ケージ等の用意	
	知人宅、親戚宅、ホテルなどへ 避難を検討する方	<input type="checkbox"/> 避難先へ連絡 <input type="checkbox"/> ホテルの予約	
家族の行動計画			

マイ・タイムライン

「洪水が発生しそうな、危険な天気になりそうだ!」という状況で、いざ避難の準備をしようと思っても、何から手をつければ良いのかわからない。そんな時に備え、防災に対する自分の行動を時系列で整理した計画表が「マイ・タイムライン」です。

避難スイッチ

家庭によって安全確保のタイミングや逃げ方は様々です。「こういうことが起こったら避難しよう」「こういう情報を手に入れたら絶対に逃げ出そう」といった自主的に安全確保の判断するきっかけとなる状況・情報が「避難スイッチ」です。

レベル3	レベル4	レベル5
高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険 直ちに安全確保!
氾濫警戒情報/洪水警報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
大雨警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報(土砂災害)
○	○	
<input type="checkbox"/> テレビやラジオはつけたまま <input type="checkbox"/> 避難所・開設情報の確認	<input type="checkbox"/> 避難開始・完了 危険な場所から全員避難	命を守る 最善の行動をとる
<input type="checkbox"/> 避難開始・完了 避難に時間を要する方は 危険な場所から避難		

避難時の心得

避難は、災害が発生する前の自主判断が原則です。また、夜間の避難は周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。暗くなる前に避難しておきましょう。

避難する前に!

- 電気のブレーカーを落とす
- ガスの元栓を閉める
- 親戚や知人に避難することを連絡



非常持出品の事前準備を!

- 定期的に中身を確認



ただちに避難を!

- 避難指示
- 危険を感じたら



車での避難は控え、徒歩で避難を!

(高齢者等の送迎が必要等、止むを得ない場合は早めの避難を開始しましょう)

- 交通渋滞
- 浸水による故障
- 緊急車両の妨げ



災害時に支援を必要とする人に協力を!

- 身体の不自由な人
- 高齢者
- 乳幼児

